

都内の交通事故 (6.4.15現在)			
区分	事故発生件数	死者数	負傷者数
本年	8,184	41	9,032
前年同期	8,270	30	9,208
比較	-86	+11	-176

青いシグナル

発行所
一般財団法人 東京都交通安全協会
〔東京都交通安全活動推進センター〕
東京都中野区弥生町2-4-10 警視庁本郷通庁舎内
郵便番号164-0013 電話5990-6875
https://www.tou-an-kyo.or.jp
発行者 大浦 茂
年4回発行

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



春の全国交通安全運動ポスター
交通安全広報大使（関根勤さん、村山輝星さん）

『別表』 都内の交通安全運動期間中の交通事故状況

区分	事故発生件数	死者数	負傷者数
本年	731	2	789
前年同期	839	3	944
増減数	-108	-1	-155

春の全国交通安全運動が4月6日(土)から15日(月)までの10日間にわたって実施されました。都内ではコロナ禍での活動制限等が解除されたことなどから交通事故が増加し、特に3月以降は死亡事故が急増しています。当協会では春の全国交通安全運動を契機に、増加している重大交通事故に歯止めを掛けるため、警視庁の協力を得て、3月19日(火)交通安全協会会長会議を開催したほか、3月30日(土)には、「令和6年春の全国交通安全運動 TOKYO SAFETY ACTION with」を開催しました。

春の全国交通安全運動期間中における都内の交通事故は、別表のとおり、前年同期に比べ発生件数、死者数、負傷者数のいずれも減少しました。これも地域交通安全協会をはじめ行政機関や地元企業、町会など交通安全活動に携わる多くの方々のご尽力によるものであります。交通事故を無くすためには、私たち一人ひとりが交通ルールを守り、相手に対する「思いやり」、「ゆずり合い」の気持ちを持つことがなによりも大切であります。交通安全標語「急いでいる今があなたの赤信号」を忘れずに、心にゆとりを持って安全運転をお願いいたします。



「交通安全都民のつどい」における緒方警視總監挨拶



小池都知事からはお祝いのビデオメッセージが届けられた

春の全国交通安全運動 終了

4月6日から4月15日

家庭用回覧チラシ —交通安全思想の普及浸透を図る—



家庭用回覧チラシは春・秋の全国交通安全運動に際し、広く都民の皆さんに交通安全思想の普及浸透を図ることを目的として当協会が作成しているものです。今回も地域交通安全協会の皆さんのご協力をいただき、町会の回覧板に挟んで各家庭に回覧したほか、町会の掲示板や集会所、駅などの公共施設や病院、スーパーなど多くの人が集まる場所に掲示しました。

主なテーマは、「新入学児童の交通事故防止」と「自転車利用者のヘルメット着用」です。

警視庁の交通安全スローガン「たくさん笑顔が走る首都東京」をドライバーの一人ひとりが実践することで思いやりの輪を広げ、「世界一の交通安全都市TOKYO」を実現しましょう。

警視總監による新入学児童の横断訓練

4月8日(月)文京区立根津小学校(4)四家薫校長)において、警視總監による新入学児童に対する横断訓練が行われました。

本年3月末現在、幼児から中学生までの子供の交通事故は373件発生していますが、そのうち小学生が236人(63.3%)を占めています。また、過去5年間の年齢別の死者数では7歳が最も多くなっています。新入学児童にとって通学路は保護者の手を離れ初めて通う慣れない道で、その途上には多くの危険が潜んでいます。

特に横断歩道は、本来、歩行者が安心して道路を横断できる場所ですが、横断中に車に撥ねられる事故が後を絶ちません。警視總監による横断訓練は、新入学児童と

新入学児童に「横断セーフティアクション」に基づく安全な横断を指導する緒方警視總監



横断前の安全確認



横断中でも安全確認



横断訓練前の安全教育



手をしっかり挙げて